



ぺんぎんぐみだより



令和 7 年 5 月 26 日

天沼保育園ぺんぎん組 5 月号

身近な大人と一緒に遊ぶことを楽しんでいた子どもたちも、最近は自分で考えて、イメージを膨らませながら遊びを楽しむ様子が増えてきました。子どもたちの遊びには、大人には無い発想がたくさん！今回はそんな面白い子どもたちの遊びを紹介します。



今日のメニューは…

「これ食べてー」と見せてくれたのは、美味しそうなスープ。園庭に落ちていた葉っぱも、子どもたちの手にかかれば美味しそうなスープの材料に！この日の献立は「黄色いわかめスープ」でした。



子どもたちの手にかかれば…

積み木やリグノ、コルク積み木等を積み上げて遊ぶことが増えてきた子どもたち。「今日は♪きらきらぼし♪を歌いまーす」と専用のマイクスタンドをつくってみたり、高く積み上げてドキドキハラハラを楽しんだり。最近はミニドール等を組み合わせて、「ここはお家なの」「こっちはお風呂だよ」「これは大きいお馬さんに乗っているの」とイメージを膨らませながら楽しんでいます。



スポンジってすごい！

園庭でスポンジを使ってバスマット洗いをしていた時のこと。水の中に入っていたスポンジを握った瞬間、大量の水が！「押したらお水が出る！」「手洗えるよー」と、スポンジが水を吸うという大発見に目を輝かせていました。

洗濯バサミとパズルを合わせて…

お昼寝前の出来事。みんなが布団で横になっている傍らで、何やらせせとパズルを運んでいる子が…。手元を覗いてみると、みんなの帽子掛け用の洗濯バサミにパズルを挟んでいました。おもしろい遊びを考えるなぁと見てみると、「見てー、風鈴だよ！」と嬉しそうに教えてくれました。



遊びだけでなく、こんな姿も…

「ママがいいよお…」と泣いていたお友達を見つけて、「どうしたの？」「寂しくなっちゃった？」「ママに会いたいよね」と優しく声をかける姿がありました。寂しい、悲しいというお友達の気持ちに寄り添う優しい心が育っているのだなぁと、見ていて嬉しくなりました。

泣いていた子も嬉しかったようで、話を聞いてもらっているうちに笑顔になり、近くで泣いていたらっこ組の子を見て「泣いてるね」と心配をしていました。自分がされて嬉しかったことを、今度は自分がしているのだと、心の成長を感じた瞬間でした。